



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6455 URL https://www.morita119.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尾形 和美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 金岡 真一 (TEL) 06-6208-1915  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,277	△7.0	△317	—	△234	—	△321	—
2019年3月期第1四半期	12,127	13.6	△551	—	△407	—	△441	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △1,103百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △457百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△7.10	—
2019年3月期第1四半期	△9.77	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	107,160	65,641	60.3
2019年3月期	117,218	67,607	56.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 64,577百万円 2019年3月期 66,539百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	△9.2	1,200	9.7	1,400	1.5	2,100	188.2	46.40
通期	88,000	△3.9	9,200	△3.0	9,600	△5.0	7,300	14.2	161.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	46,918,542株	2019年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,682,720株	2019年3月期	1,682,601株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	45,235,869株	2019年3月期1Q	45,236,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦や中国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは新たに策定いたしました中期経営計画「Morita Reborn 2025」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は11,277百万円（前年同四半期比850百万円減、7.0%減）となりました。一方、利益につきましては、前期に展示会への出展費用を計上したこともあり、営業損失は317百万円（前年同四半期は551百万円の損失）、経常損失は234百万円（前年同四半期は407百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は321百万円（前年同四半期は441百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①消防車輛

消防車輛事業は、主に海外売上が予定通り進捗したことから、売上高は4,562百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

#### ②防災

防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の売上が低調であったこともあり、売上高は3,761百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

#### ③産業機械

産業機械事業は、部品販売及びメンテナンスの売上が堅調に推移したことから、売上高は896百万円（前年同四半期比42.9%増）となりました。

#### ④環境車輛

環境車輛事業は、衛生車の出荷が低調であったこともあり、売上高は2,056百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に集中する傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の分析)

当第1四半期連結会計期間の総資産は107,160百万円（前連結会計年度末比10,057百万円の減少）となりました。

流動資産は、52,199百万円となり10,145百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が17,093百万円減少した一方で、たな卸資産が5,076百万円増加したことによるものです。

固定資産は、54,961百万円となり87百万円増加しました。うち有形固定資産は、35,771百万円となり1,190百万円増加し、無形固定資産は、4,004百万円となり246百万円減少し、投資その他の資産は、15,184百万円となり856百万円減少しました。

流動負債は、24,313百万円となり8,878百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,845百万円、電子記録債務が2,024百万円、未払法人税等が2,428百万円減少したことによるものです。

固定負債は、17,205百万円となり786百万円増加しました。

純資産は、65,641百万円となり1,966百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上321百万円、剰余金の配当859百万円及びその他有価証券評価差額金が652百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.8%から60.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ561百万円増加の13,744百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,903百万円の収入（前年同四半期は2,369百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少額17,439百万円で資金が増加した一方で、税金等調整前四半期純損失318百万円の計上、たな卸資産の増加額5,174百万円、仕入債務の減少額5,895百万円、法人税等の支払額3,507百万円で資金が減少したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、321百万円の支出（前年同四半期は346百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出544百万円の方で、有形固定資産の売却による収入303百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,009百万円の支出（前年同四半期は202百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額1,113百万円、配当金の支払額846百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点では、2019年5月24日に公表いたしました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,326	13,960
受取手形及び売掛金	28,181	11,087
電子記録債権	1,599	1,555
商品及び製品	4,651	5,122
仕掛品	6,431	9,701
原材料及び貯蔵品	6,498	7,832
その他	1,925	3,193
貸倒引当金	△269	△255
流動資産合計	62,344	52,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,272	11,122
機械装置及び運搬具（純額）	3,398	3,224
土地	19,564	19,564
建設仮勘定	36	267
その他（純額）	308	1,591
有形固定資産合計	34,581	35,771
無形固定資産		
のれん	3,103	2,937
その他	1,148	1,066
無形固定資産合計	4,251	4,004
投資その他の資産		
投資有価証券	11,473	10,340
退職給付に係る資産	1,110	1,116
その他	4,010	4,275
貸倒引当金	△553	△547
投資その他の資産合計	16,040	15,184
固定資産合計	54,873	54,961
資産合計	117,218	107,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,078	6,233
電子記録債務	10,688	8,664
短期借入金	1,124	—
1年内返済予定の長期借入金	816	816
未払法人税等	2,596	168
賞与引当金	1,235	614
役員賞与引当金	162	39
製品保証引当金	488	427
その他	6,000	7,349
流動負債合計	33,191	24,313
固定負債		
長期借入金	7,948	7,948
退職給付に係る負債	3,790	3,747
役員退職慰労引当金	136	14
その他	4,542	5,494
固定負債合計	16,418	17,205
負債合計	49,610	41,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,331	4,331
利益剰余金	57,782	56,602
自己株式	△1,502	△1,503
株主資本合計	65,357	64,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,283	3,630
繰延ヘッジ損益	△1	△4
土地再評価差額金	△2,656	△2,656
為替換算調整勘定	△212	△343
退職給付に係る調整累計額	△230	△226
その他の包括利益累計額合計	1,181	400
非支配株主持分	1,068	1,063
純資産合計	67,607	65,641
負債純資産合計	117,218	107,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	12,127	11,277
売上原価	9,169	8,300
売上総利益	2,958	2,976
販売費及び一般管理費	3,509	3,293
営業損失(△)	△551	△317
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	60	62
受取賃貸料	22	20
持分法による投資利益	49	3
その他	83	66
営業外収益合計	217	155
営業外費用		
支払利息	16	17
賃貸費用	2	2
為替差損	35	17
その他	20	34
営業外費用合計	74	72
経常損失(△)	△407	△234
特別利益		
固定資産売却益	6	—
退職給付制度改定益	5	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	84
特別損失合計	0	84
税金等調整前四半期純損失(△)	△396	△318
法人税等	58	10
四半期純損失(△)	△454	△328
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△441	△321



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△454	△328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	△646
繰延ヘッジ損益	4	△1
為替換算調整勘定	△328	△174
退職給付に係る調整額	34	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	43
その他の包括利益合計	△3	△775
四半期包括利益	△457	△1,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△446	△1,102
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△396	△318
減価償却費	528	531
のれん償却額	116	109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△15
受取利息及び受取配当金	△62	△63
支払利息	16	17
持分法による投資損益(△は益)	△49	△3
有形固定資産除売却損益(△は益)	△6	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	84
売上債権の増減額(△は増加)	16,471	17,439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,734	△5,174
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,423	△5,895
その他	△197	△354
小計	5,256	6,357
利息及び配当金の受取額	62	63
利息の支払額	△6	△10
法人税等の支払額	△2,943	△3,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,369	2,903
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△293	△544
有形固定資産の売却による収入	7	303
有形固定資産の除却による支出	—	△106
無形固定資産の取得による支出	△26	△17
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	11	100
その他	△44	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346	△321
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	429	△1,113
長期借入金の返済による支出	△6	—
配当金の支払額	△620	△846
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△2	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202	△2,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,807	561
現金及び現金同等物の期首残高	9,172	13,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,980	13,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

なお、この適用による当第1四半期連結会計期間の連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

## (セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	4,043	5,214	627	2,242	12,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	113	59	0	42	214
計	4,156	5,273	627	2,284	12,342
セグメント利益又は損失(△)	△946	286	△5	111	△553

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△553
セグメント間取引消去	1
棚卸資産の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△551

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
外部顧客への売上高	4,562	3,761	896	2,056	11,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	66	0	20	103
計	4,578	3,828	896	2,077	11,381
セグメント利益又は損失(△)	△579	99	64	80	△335

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△335
セグメント間取引消去	2
棚卸資産の調整額	16
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△317

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	4,421	+10.5
防災	3,366	△23.0
産業機械	1,206	+5.2
環境車輛	2,529	+1.0
合計	11,524	△4.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	29,706	+3.1	36,778	△1.4
防災	1,653	△29.8	3,795	+1.6
産業機械	1,449	+72.8	3,447	+30.2
環境車輛	2,447	△16.7	5,136	+11.7
合計	35,256	+0.9	49,157	+1.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

## 3 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	4,562	+12.8
防災	3,761	△27.9
産業機械	896	+42.9
環境車輛	2,056	△8.3
合計	11,277	△7.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。